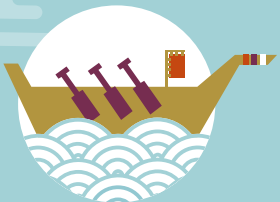


伝統 芸能 トリップ

東ナ
部ガ
地サ
区キ

伝統に触れ、
時をめぐる旅へ





東部地区 「伝統芸能ガイド」

時をかける 伝統芸能の 旅へ!!

長崎市東部地区で古くから行われてきた
伝統芸能。先人たちの情熱が今もなお
引き継がれています。長い時を想う、
奥深き伝統芸能の旅へいざ…!

歴

郷土芸能は 長い歴史の積み重ね

江戸時代の東長崎は、旧矢上村と戸石村が佐賀藩諫早の領土、旧古賀村が天領から大村藩の領土となり、旧日見村は長崎代官の支配にありました。日見峠は「西の箱根」と言われ、街道きっての難所とされ、長崎街道の要衝だった矢上宿には番所や役屋敷などが置かれ、いろいろな品物や文化が行き交う街道筋として栄えた歴史があります。矢上地区に継承される「コッコデシヨ」は、矢上宿に滞在した人々から伝わったものと言われています。東長崎の伝統芸能の数々は、古くは300年以上も前にこの地に伝わり、今も大切に継承され続けているのです。

約370年前～
【中里獅子浮立】



肥前地方に広く分布する
獅子舞が基で、佐賀地方
から伝承。

約330年前～
【間の瀬狂言】



京都から流れてきた猿楽師
により伝授されたとされる。

約250年前～
【ささら浮立】



江戸時代より、五穀豊穡
や雨乞い祈願として行
われた。

約200年前～
【中尾獅子浮立と唐子踊】



200年以上継承された獅子
浮立と明治期伝承の唐
子踊が組み合わせられた。

起

東長崎の「浮立」、 起源はなんと平安時代!!

東長崎の代表的郷土芸能といえば「浮立」。これらの起源は、遡ること800年以上前の平安時代!!美しく着飾った人が行列の一部を占めたり、飾り付けた車を引いたりしたことを指す「風流」が独立し、芸能化したものとされています。江戸時代に佐賀藩(鍋島藩)の奨励があったことから、佐賀県を中心に広い地域に分布し、年貢制度のあった時代、米の検査に訪れた役人をもてなすため、村人たちが披露したものが原点であるとも伝えられています。



ふりゅう

継

間の瀬狂言 ちょっとしたアドリブ、 動きで笑わせられるといい。

長崎県の文化財に昭和43年に指定された「間の瀬狂言」。戦前であれば日清、日露の戦いに勝った時のお祝いに、中学校の落成、矢上くんちなど。様々なお祝い事に出演してきました。総勢140～150人で行うのですが、間の瀬地区は75世帯くらいしかないで、一家族から2人は出演。出演せずとも裏方もいますから、ほとんど地区全体で取り組んでいます。あれだけのギャラリーを笑わせるという大きな任務がありますからね。練習の時はあえて、7～8割の出来にしとけと言うんですよ。その代わり、本番で200%出せと教えています(笑)。転ぶ芸も猿と戯れる芸も、観ているお客さんを愉快にさせるということが一番ですからね。私が継承した時代は、師匠のところに行くで「まずは酒を飲むぞ」と。飲んで、フラフラになりながらスタートするんですね。本番ではひょうたんの中に水が入っているのだけど、練習の時は物語の通りお酒を入れてね。アルコールも随分鍛えられました(笑)。浮立に限らず、今までやってきた伝統を0にしてはダメ。10じゃなくていいんですよ。2か3でもいいから、縮小してでも、へばりついてでも努力して継続することが何よりも大切だと思っています。



間の瀬地区自治会長
三田村信義さん



見

浮立の組み合わせや細やかな 違いを発見するのが楽しい!!

東長崎の「浮立」の多くは、いくつかの浮立を組み合わせた「本浮立」です。主に行列を組んで目的地へ向かう「道行き」は、前へ前へと進むダイナミックな動きを、城内などの目的地で演じる「庭浮立」は、柔らかくしなやかな動きが特徴的です。一見すると同じ浮立も、鳴り物や踊りの所作などに注目して見ると、細やかな違いがあります。練習を積み重ねてきた、熱気ある人々の動きとともに、細やかな所作の違いを発見して楽しめるのも浮立見物の醍醐味です。

行列浮立

大名行列の様式を残して
おり、行列の中での
演技に中心を置くもの。



掛け打ち

鬼の面とシャグマをかぶり
踊る芸で、小学校まで
の子ども達が担当。



踊浮立

太鼓を中心に据えて、
太鼓打の技や芝居の所作
が加わります。



動物浮立

きつねや猿など動物の
動きを真似た踊り。



玄番一流

頭に大きな月の輪をつけて
舞う浮立の一種。創始
者の名からとった呼び名。



庭浮立

神社の境内など目的地
で演じます。グッと腰を
落とした動きが特徴。



道行き

奉納しながら歩き進む
浮立。行列を組んで
目的地へ向かいます。



伝統芸能のまちをめぐる旅へ

東部地区には、肥前系統の「浮立」が多く残されバラエティに富んだ伝統芸能が伝えられています。特色豊かな郷くんちや伝統芸能をめぐる旅をお楽しみください。

矢上
やがみ



中尾獅子浮立と唐子踊保存会(左から)

囃子方 永田 義純さん / 囃子方 頭領 永田 義浩さん
会長 城戸 利美さん / 副会長 船山 重春さん
獅子方 松尾 健吾さん

矢上ってこんな町

市中心部より東方約11kmに位置するエリアです。長崎と江戸を結ぶ長崎街道の要衝だった矢上宿には番所や役屋敷などが置かれ、街道筋として栄えました。

子どもの頃からの参加者も多い 地域に欠かせない大切な伝統芸能

永田 義純 「初舞台は4歳。いろんな役柄を経験して、11歳からは囃子方(はやしかた)として活動しています。これからも地元で暮らし、継承していけたらと思っています。」

松尾 健吾 「私も子どもの頃からずっと参加していました。毎年夏休みになると練習が始まり、お菓子やジュースがもらえるから楽しみで行くんですね。様々な演目を見て聞いて体感して、成長する中で体に染み付いていく。大太鼓をしたり、鉦をしたり笛をしたり。そして今獅子をしてと、様々な役を経験しました。獅子方は現在13名ほどで、20代から50代と各世代にバランスよくいます。みんなそれぞれ子ども時代から中尾くんちに参加していた人間です。」

永田 義浩 「現在、囃子方と締め太鼓合わせて16名で活動しており、中尾の分だけでも12曲。楽譜はなく人から人へと継承していかないとけません。コロナ禍で表舞台で演奏することは少ないものの、芸を絶やさないために今も定期的に集まって練習を続けています。」

船山 重春 「中尾の浮立は芸が多いんです。いろんな芸が必要で、その分、人出も必要になってくる。少子高齢化でどれだけ人員を確保できるかが重要ですね。」

城戸 利美 「うちは今、90%くらい地元でやっているけど、当地区で足りないときには他の地区と協力しながらでも、次の世代へ継承していけたらと思っています。」

中尾獅子浮立と唐子踊

長崎市田中町中尾に伝承されてきた市指定無形民俗文化財の伝統芸能です。享和2年(1802年)の刻印が入った鉦(かね)があることから、220年以上もの歴史があるとされる「獅子浮立」。明治中期に「長崎くんち」の西浜町奉納踊から伝承された「唐子踊(からこどり)」を組み合わせ、独自の芸能として仕立てられました。笛、太鼓、鉦の囃子(かねのはやし)、立道具、ササラ、笠踊り、唐子踊り、仔獅子、月の輪、親獅子などで構成されます。



獅子と無邪気な唐子の
華やかな舞が人々を魅了する

MAP 6
PTO

◆◆ 長崎シャギリ ◆◆



あの長崎くんちのシャギリ、
実は東部地区自慢の
伝統芸能のひとつなんです！

県指定無形民俗文化財であり、明治に東長崎地区に伝承したとされます。東長崎地区を中心に継承される伝統芸能です。長崎くんちに欠かせないシャギリを守り続けた我がまち東長崎！これってすごいことだと思いませんか？

・上演場所・期間・

- 長崎くんち**
10月7日～9日
場所：諏訪神社・八坂神社・お旅所 ほか
- 矢上くんち**
10月17日
場所：矢上神社
- 古賀くんち**
10月29日
場所：古賀八幡神社

矢上町コッコデショ

MAP 7
PTO

太鼓山を跳ばす！廻す！上げる！
豪快な演技が見どころ

寛永11年から奉納が始まったと伝えられ、以来、雨乞いや矢上くんちに奉納されてきました。子ども4人の太鼓打ちが、投げ頭巾を被り、タスキを掛けて座っている部分から上を太鼓山といい、これを大人数で担ぐ演技が見どころです。采振り(さいふり)の采配に合わせて規律正しく、跳ばしたり、廻ったり、空高くほうり上げたりする大迫力の演技に注目！



田之浦本浮立



田之浦の矢次郎神社で雨乞いなどの際に奉納されていた浮立。発祥は江戸時代の文化文政期(1804～1829年頃)とされ、旧佐賀藩矢上村田之浦に伝えられたものといわれています。

MAP 9
PTO

現川浮立



大名行列の総合浮立で、ササラ、立道具、掛打ち、はさみの箱、元浮立(笛、太鼓、鉦)で、豪華に構成されています。発祥は江戸時代の文化文政期(1804～1829年頃)とされます。

MAP 4
PTO

矢上平野浮立



行列浮立で、江戸末期佐賀鍋島藩の参勤交代時の大名行列を模した肥前浮立系統の道行き浮立。令和3年度に保存会が地域文化功労者に選ばれ、文部科学大臣から表彰を受けました。

MAP 8
PTO

馬場本浮立



文政8年(1825年)の銘が刻まれた鉦(かね)があることから、200年近い歴史があるとされます。矢上八名の一番笛として有名で、雨乞いや豊年祈願を単独で行っていたのがはじまり。

MAP 11
PTO

間の瀬狂言



滝の観音の門前と呼ばれる小集落に伝えられる狂言まじりの猿浮立。万治3年(1660年)、観音寺(滝の観音)開山の際に奉納したとされ、大太鼓には元禄8年(1695年)観音寺の銘が。

MAP 1
PTO

蠣道浮立



江戸時代の文化文政期(1804～1829年頃)、北高来郡田結村(現諫早市飯盛町田結)から伝えられたのが発祥。大太鼓は熊本城の陣太鼓を大正初期に入手した歴史あるものとされます。

MAP 10
PTO

トリップ 上 点

● 矢上神社 ●



古くは大王社と称された厄除災難除の神として名高い神社。矢上の地名の起りとなし、矢上くんちの舞台となる。

Data 長崎市矢上町14-1
☎ 095-839-0909
矢上くんち:10月17日

● 八郎川の桜並木 ●



見渡す先まで一直線に咲き誇る様が美しい桜並木。桜の見頃は多くの人々が訪れる。地元の人々の憩いの場。

Data 長崎市矢上町周辺
馬場(県営)バス停
徒歩2分

● 矢上普賢岳 ●



登山口は「普賢山法華院」の駐車場に。頂上展望所まで250m・25分ほど。普賢菩薩の鳥居を潜り、石段を登っていく。

Data 長崎市東町
普賢神社口(県営)バス停
徒歩30分



古賀
こが

(左から)古賀地区連合自治会会長 演田 文秀さん / 渡邊 一則さん / 引地 等さん

人気の奉納相撲をきっかけに
若い人にも興味を持ってもらえたら

【引地】『松原龍踊』は、大人から子どもまで、脇役まで入れると60名ほどで行う演目です。現在、子どもたちの囃子方は1年～6年生で計30名ほど。お母さん方にも一緒に囃子方に入ってもらうなど工夫しながら、松原の町内だけで継承し続けています。」

【渡邊】「私が大学卒業して企業で勤めて、故郷に戻った昭和51年にはすでに4演目とも休部状態だったんです。そこで、同好会を作って5年かけてなんとか動き出しました。JA長崎農協古賀支店ができ、その落成式にお披露目をして復活。それから古賀くんちや福瑞寺のお祝い事の際に古賀の4町みんなで披露するようになった経緯があります。」

【演田】「地域にそれぞれ師匠がいて、持ち場持ち場を継承していくことができていたのですが、今はなかなか大変。時代背景の中で、練習しきらんという方も増えています。立派な道具はそろっていて素晴らしい財産がある。幸いに、奉納相撲のおかげで、古賀くんちにはたくさん若い人が来てくれます。若い人たちにももっともっとその気になってもらって、古賀地区全体で取り組んでいけたらと思っています。」

古賀ってこんな町

旧長崎街道の道筋として栄えた自然豊かなエリアです。九州の中では一番古い植木の産地と言われ、約400年の歴史を誇る「植木の里」としても知られます。

古賀町コッコデショ



大正初期頃、長崎市杵島町在住の本田仙吉氏が古賀町畑々中に移住し伝授したと伝えられます。担ぎ手には女性が参加していたこともあります。

松原浮立・龍踊



浮立・かけ猿・行列・傘鉾(かさぼこ)・龍踊で構成。龍踊は松原の植木職人が行商のために渡った中国で見たものを、見よう見まねで伝承したとされます。

中里獅子浮立



約400年前、佐賀地方の旅人が伝えたのが始まりとされ、獅子舞を基礎にした浮立。中里町公民館には代々受け継がれている獅子が展示されています。

船石木場浮立



300年もの歴史があり、古来より町民の親睦融和を中心にお祝いや祭典等に出場。観現神社で雨乞いの儀式として奉納された歴史もあります。



戸石
といし

(左から)上戸 信幸さん / 上戸石町自治会会長 木下 千代蔵さん

戸石ってこんな町

海岸部は橋湾の恵まれた漁場環境を生かした漁師町。養殖業も盛んに行われています。山間部ではショウガやイチゴ栽培など農業も盛んな「食」のまちです。

大きな月の輪で派手に舞う！
ほかに負けない自慢の浮立です

【木下】「ささら浮立は、どこの浮立にも負けない内容だと思っています。実は、うちの月の輪は、他の地域のものより大きいんですよ。古くなってきた月の輪を見よう見まねで作直した際に、調整していくうちに大きくなってしまったんです(笑)。」

【上戸】「他の地域の月の輪は、「殿様の前でほこりが舞わないように」というコンセプトなのですが、うちのほうはもう少しあとに始まった芸能。「殿様関係なく、派手にやる!」というのがコンセプトにあるので、偶然ですがその点ではぴったり。」

【木下】「私は、50歳になって初めて太鼓を習ったのですが、子ども達は覚えるのが早い。これじゃいかんと、家に帰ってこれでもかってほど練習しました(笑)。初めてみなさんの前で披露したときの喜びは今でも覚えています。」

【上戸】「子どもの頃に習っても、中高生で部活などが始まり参加できなくなる子もいます。高校を卒業すると進学・就職でまちを出る子も多い。人材確保を考えると、これからは子ども達だけでなく親御さんにも一緒に習ってもらおうと良いかもしれませんね。」



日見
ひみ

芒塚獅子舞保存会会長 吉田 茂さん

日見ってこんな町

東部地区で唯一、幼小中高大の教育機関の揃うエリア。理工系大学「長崎総合科学大学」や、9種約170羽を飼育する「長崎ペンギン水族館」があります。

中腰で30分踊る
獣感あふれる獅子の動きに注目

「芒塚の獅子舞は、親子の獅子が休みなく踊るもの。小・中学生にも出演してもらっています。何年か前までは小学校に出向いたこともあったのですが、この数年はそれもなく、実際に獅子舞を見たことない子もいるので、まず興味を持ってもらえる機会が減ってしまっているのは残念ですね。かつては、芒塚の3つの地域で当番制で行っていました。私も子どもの頃から参加していて、鈴振りや月の輪、獅子舞、そして笛と、様々な役割を担わせていただきました。うちの獅子舞は最初から最後まで中腰で踊るのできついんですよ。低い体勢で踊ると、より獣っぽいでしょ?30分ほど踊り続けるので、うちの場合は「もってこーい」は絶対無理(笑)。囃子方は、オーケストラの指揮者みたいなもので、うちのオヤジなんかは「獅子を躍らせてやった」と言っていました。獅子がきつそうに見えれば少し動きを休ませたりしてね。獅子舞の踊り手と囃子方とで、呼吸を合わせながら演じる様子を楽しんでいただけたらと思います。」

ささら浮立



MAP 3
P10

五穀豊穡や雨乞い祈願として
300年近く前から伝わる

江戸時代、諫早の「三頭浮立」が戸石に伝わったことが起源と推測されています。笛・太鼓・鉦・大太鼓・もらし(小太鼓)からなる「鳴り物」と、「ささら踊り」「奉還道踊り」「掛打ち踊り」で構成。

◆◆ 牧島銭太鼓 ◆◆



大正末期ごろ、出雲地方より習得し昭和天皇ご即位の祝事に奉納して広められたとされます。長さ30cmほどの銭太鼓を回転させたり、床をたたき音を出しながら踊ります。

芒塚獅子舞



MAP 2
P10

月の輪踊りと獅子舞が
願いを込めて踊る

日見川水源にある滝壺のほとりに建てた「松露洲神社」に中国の獅子舞をもとに奉納したのが始まり。道獅子の笛の音に合わせて、頭に月の輪をかぶった二人が舞い、早獅子の笛の音に合わせて、親子の獅子の獅子舞が休みなく願いを込めて踊ります。

めぐる旅

土俵は地域のみんなで年に一度つくりあげる

古賀 | 戸石 | 日見

トリップ
ポイント

● 古賀八幡神社 ●



「古賀くんち」では拜殿そばの土俵で奉納相撲が行われる。境内にある多くの植木も見どころ。

Data

長崎市古賀町1064 古賀(県営)バス停徒歩5分 古賀くんち: 10月29日

● 旧長崎街道 ●



長崎街道を往来する人々が休憩するための茶屋だった「古賀の藤棚」は、4月下旬～5月上旬が見頃。

Data

古賀の藤棚 長崎市中里町1533 藤棚(県営)バス停徒歩3分

● 戸石神社 ●



戸石くんちの舞台。海際にある一の鳥居は、かつて海中だった場所に建てられたとされる。

Data

長崎市戸石町1669 095-830-2446 戸石(県営)バス停下車1分 戸石くんち: 10月17日

● 戸石フレッシュ朝市 ●



夏は「はもかに祭り」、冬には「とらふぐ・かき祭り」で賑わう。冬の「かき焼きコーナー」も人気。

Data

長崎市戸石町2164 095-838-7310 8時～13時 年末、年始、毎週火曜日 他 毛屋(県営)バス停徒歩10分

● 長崎ペンギン水族館 ●



世界一の飼育種数を誇るペンギン専用の水族館。繁殖、飼育技術は世界レベルのバイオニア。

Data

長崎市宿町3-16 095-838-3131 9時～17時 8時～13時 年末、年始、毎週火曜日 他 大人520円 / 子ども310円(3歳～中学生) ペンギン水族館前(県営)バス停徒歩すぐ

伝統の夏の風物詩 ペーロンを めぐる旅へ!!

江戸時代には長崎近辺の36の町が、それぞれの旗印を舟に立てて競い合い、長崎の民衆の楽しみであったとされる夏の風物詩「ペーロン」。「ヨーイサー！」の勇ましい掛け声と「ドーン、ドン、ジャン、ジャン！」と、太鼓・ドラの音を響かせながら競漕するその姿は、一度目の当たりになると心奪われること間違いなし！選手も観客も魅了する熱き戦いをめぐる旅へいざ!!



起

紀元前の 中国で生まれた!?



起源説で最も有力とされるのが、四面楚歌の故事で知られる国「楚」の詩人「屈原（くつげん）」説です。紀元前350年、屈原は、王を助け善政を敷いていましたが、秦の陰謀によって失脚。祖国・楚の将来に絶望した屈原

は、川に石を抱えて身を投げてしまいました。この屈原の死を悼んだ楚の国民達が、屈原の無念を鎮めるために龍船（白龍）を出したのが、ペーロンの起源。亡骸を食べられないよう太鼓の音で魚を追い払い、魚の餌として笹の葉に包んだ米の飯を川に投げ込む。この一連の追悼の儀式がやがて彼の霊を慰めるため、龍船を漕いでその速さを競い合う行事として定着し、以後、国の安泰を祈願する行事として中国全土に広がっていったのです。

歴

江戸初期に 長崎へ伝来!



長崎で初めて行われたのは江戸初期、明暦元年（1655年）頃。暴風雨のため唐船が難破し多数の溺死者を出した際に、長崎在住の唐人達が、海神の怒りを鎮めるために自国の遊技を長崎人に見せるため、舳（はしけ）で競漕したのがペーロンの始まり。現在、船体の長さは14m以下の専用船ですが、江戸時代の中頃、競漕が盛大になった頃には、約20mから45mの大型船だったとも言われています。

見

地区それぞれに 見所いろいろ!

東部地区で開催される3つのペーロン大会には、それぞれに特色があり、大会によって違った楽しみ方ができるのも魅力のひとつです。ぜひ、各大会のシャッターチャンス
を事前にチェックしてお出かけください!

レースさながらの緊張感!? 必見の竜宮祭り初節句パレード

網場漁港で開催される日見地区のペーロン大会の見所はなんといっても、「竜宮祭り初端午パレード」! レースが始まる前に行われる風習で、初節句を迎えた赤ちゃん達がお祓いを受けた後大人と共にペーロンの船先へ乗り、港内を大きく3周したあとに波しぶきで足を洗い、子ども達の健やかな成長を願います。



7
月初旬開催
日見地区

シャッター チャンス!

大人に抱えられて船に乗り気持ちよさそうな赤ちゃんも、波しぶきで足を洗われるときにはびっくりして泣き出す子も。陸から見守る大人たちにとっては絶好のシャッターチャンス!



シャッター チャンス!

航海安全・大漁祈願は朝8時から行われ、そのあと10時から大会がスタート! 白熱するレースを前に心を落ち着かせ、海に折りを捧げる“海の男たち”の真剣な眼差しをとらえるべし!

矢上大橋の下をくぐる ペーロン船に注目!

かき道の八郎川河口で行われるペーロン大会です。ペーロン船が橋の真下をくぐる、全国的にも珍しい東長崎地区のレースは、通常の1150mよりも長い1500mのレースが見られるのも見所のひとつ。矢上大橋の欄干にはペーロンの絵が刻印されており、地域になじんだ文化として親しまれてきたことが伝わります。



6
月開催
東長崎地区

シャッター チャンス!

矢上大橋の上からレースを眺めると、船の真上からのアングルで写真を撮ることができます。正面からペーロン船がぐんぐん近づいてくる、臨場感たっぷりの光景をお楽しみください!

レース前に注目すべきは 陸と海同時のご祈願

航海安全と大漁祈願を主な目的としたペーロン大会です。戸石町の戸石漁港と牧島町の白の浦漁港にて、毎年1年ごとに交代で行っています。見所は、陸と海、同時に行われるご祈願。防波堤にある記念碑の前で祈りを捧げる間、ペーロン船が港内で弧を描くように右に3回、左に3回周り、恵比須様と龍神様に感謝の気持ちを表します。

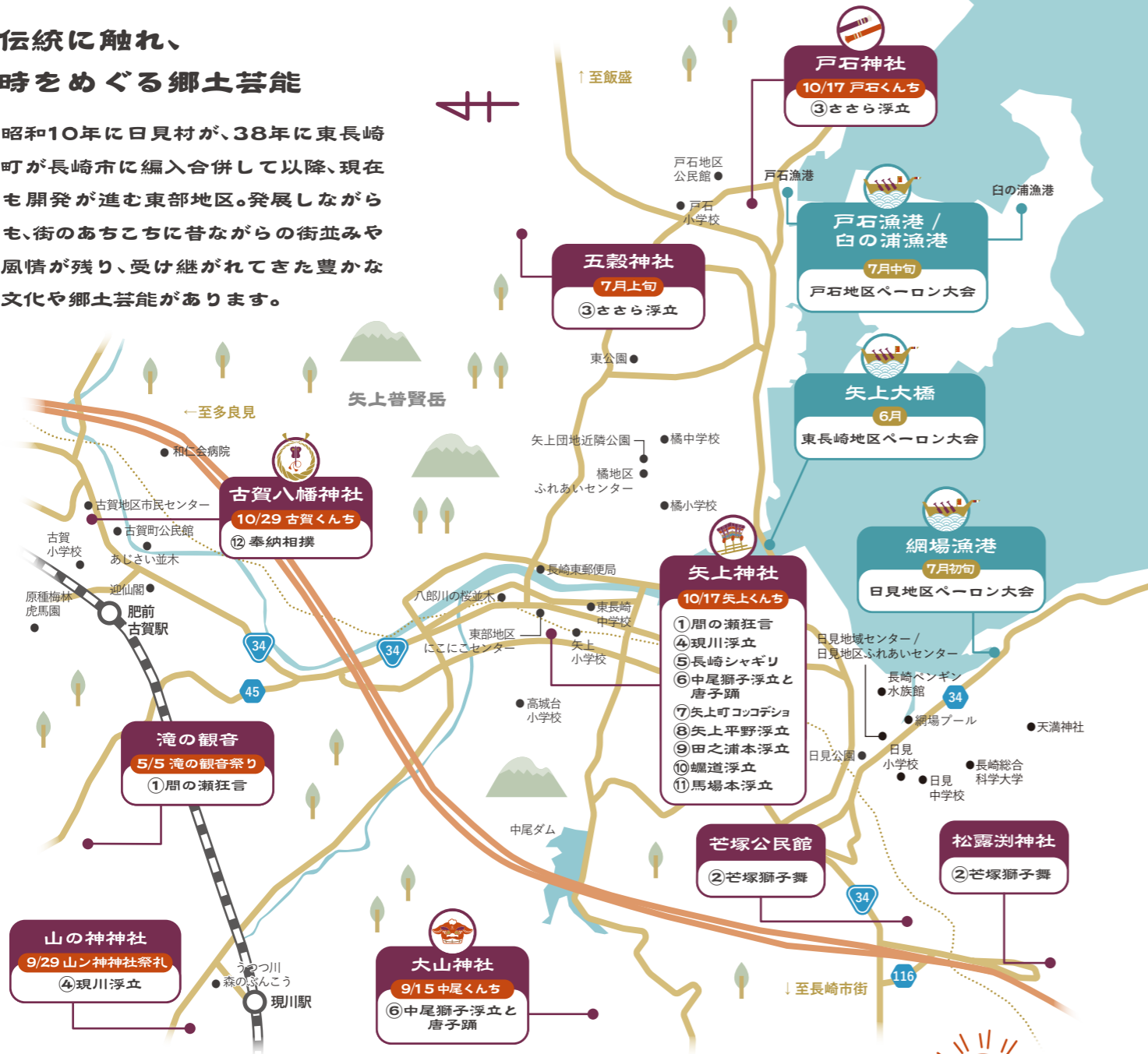
7
月中旬開催
戸石地区



伝統芸能 マップ&カレンダー

伝統に触れ、 時をめぐる郷土芸能

昭和10年に日見村が、38年に東長崎町が長崎市に編入合併して以降、現在も開発が進む東部地区。発展しながらも、街のあちこちに昔ながらの街並みや風情が残り、受け継がれてきた豊かな文化や郷土芸能があります。



郷くんち



中尾くんち
250年以上にわたり受け継がれる奉納踊り「中尾獅子浮立と唐子踊」。たくさんの観覧客が訪れる

矢上くんち
矢上神社境内で豊作を祈念する秋祭り。4年に一度の輪番制で8つの芸能が奉納され観客を魅了する

戸石くんち
幅広い演目特徴で、一番人気は古賀小学校の児童による「奉納相撲」。県指定無形民俗文化財「長崎シャギリ」にも注目

古賀くんち

ペロン大会

6月	東長崎地区
7月初旬	日見地区
7月中旬	戸石地区

東部地区では3大会が開催。八郎川を勢よく漕ぎ下がる「東長崎地区ペロン大会」に、大人も子どももワンチームで勝利を目指す「戸石地区ペロン大会」。初節句の赤ちゃんを船先に乗せ「竜宮祭り初端午パレード」が行われる「日見地区ペロン大会」も、どれも必見!

<p>5月 10月</p> <p>間の瀬狂言</p> <p>5/5『滝の観音祭り』 滝の観音境内(要請を受けた時)</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p> <p>10/17『山ノ神神社祭礼』 山の神社</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>	<p>7月</p> <p>芒塚獅子舞</p> <p>7/15直前の日曜日 松露測神社・芒塚公民館</p> <p>10月</p> <p>現川浮立</p> <p>9/29『山ノ神神社祭礼』 山の神社</p> <p>10/7~9『長崎くんち』 諏訪神社・八坂神社・お旅所ほか</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社</p> <p>10/29『古賀くんち』 古賀八幡神社</p>	<p>7月 10月</p> <p>ささら浮立</p> <p>7月上旬 五穀神社</p> <p>10/17『戸石くんち』 戸石神社(要請を受けた時)</p> <p>9月 10月</p> <p>中尾獅子浮立と唐子踊</p> <p>9/15『中尾くんち』 大山(中尾・田川内)神社</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>
<p>10月</p> <p>矢上町コッコデショ</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>	<p>10月</p> <p>矢上平野浮立</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>	<p>10月</p> <p>田之浦本浮立</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>
<p>10月</p> <p>蟻道浮立</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>	<p>10月</p> <p>馬場本浮立</p> <p>10/17『矢上くんち』 矢上神社(4年に1度の輪番)</p>	<p>10月</p> <p>奉納相撲</p> <p>10/29『古賀くんち』 古賀八幡神社</p>

見どころたっぷり♪

東部地区の情報を チェック!

伝統芸能の他にも、見どころたっぷりの東部地区。おでかけスポットや食、桜の見どころスポットなど、ローカルな情報を紹介する冊子も配布中です。誌面はWEBでご確認いただけるので、ぜひチェックしてみてくださいね。

東部地区を紹介する情報誌「ひがしSUN」創刊号



東部地区を紹介する情報誌「ひがしSUN」第2号



東部地区の桜スポットを紹介するマップ「ひがしさんぽ桜MAP」



東部地区 TOUBU AREA 四季のイベント BEST SEASON カレンダー

1月
● 中学校区成人式

2月
● 虎馬園 梅見頃

3月
● 八郎川
桜並木ライトアップ

4月
● 古賀の藤棚

5月
● 古賀植木まつり

6月
● 古賀の
あじさい並木
● 東長崎地区ペーロン大会

6月
八郎川を勢いよく漕ぎ下る様は圧巻の景色。ペーロン船が橋の下を進む大会は全国的にも珍しい

5月上旬
色とりどりの植木がお出迎え。約500種5万点が出品される展示即売会や園芸相談、体験コーナーも!

8月
● 地域の夏まつり
● 長崎東部地区
夏まつり花火大会



● 戸石はも・かに祭り

7月
● 戸石地区ペーロン大会

7月
● 日見地区ペーロン大会

7月初旬
初節句を迎える赤ちゃんを船に乗せ波しぶきで足を洗う「竜宮祭り初端午パレード」が行われる

7月中旬
大会前に防波堤の記念碑の前と水上で同時に行われる、航海安全と大漁の祈願の様子も見所

8月下旬
夏の終わりの風物詩。盆踊り、出店、花火のほか、ダンスや和太鼓の演奏などのステージも!

9月
● 中尾くんち

10月
● 戸石くんち

10月
● 矢上くんち

9月15日
250年以上にわたり受け継がれる奉納踊り「中尾獅子浮立と唐子踊り」。たくさんの観覧客が訪れる

10月17日
幅広い演目の特徴で、子ども達や地域の皆さんが活躍する姿も見所

10月17日
矢上神社境内で豊作を祈念する秋祭り。4年に一度の輪番制で8つの芸能が奉納され観客を魅了する

12月
● 戸石とらふぐかき祭り
● 迎仙閣の紅葉

11月
● 香果まつり

10月
● 古賀くんち

11月～
期間中、上質な「とらふぐ」や「かき」を使った自慢の料理をリーズナブルな価格で味わえる

11月中旬
新鮮なお野菜が安く手に入る嬉しいイベント。模擬セリや料理の実演、飲食コーナーも好評!

10月29日
一番人気は古賀小学校の児童による「奉納相撲」。県指定無形民俗文化財「長崎シャギリ」にも注目

※掲載のイベント、催事等は変更・中止になることがあります。